

ASAKAWA Daisuke Ver.R4

いつも、
コアビバイにいます。

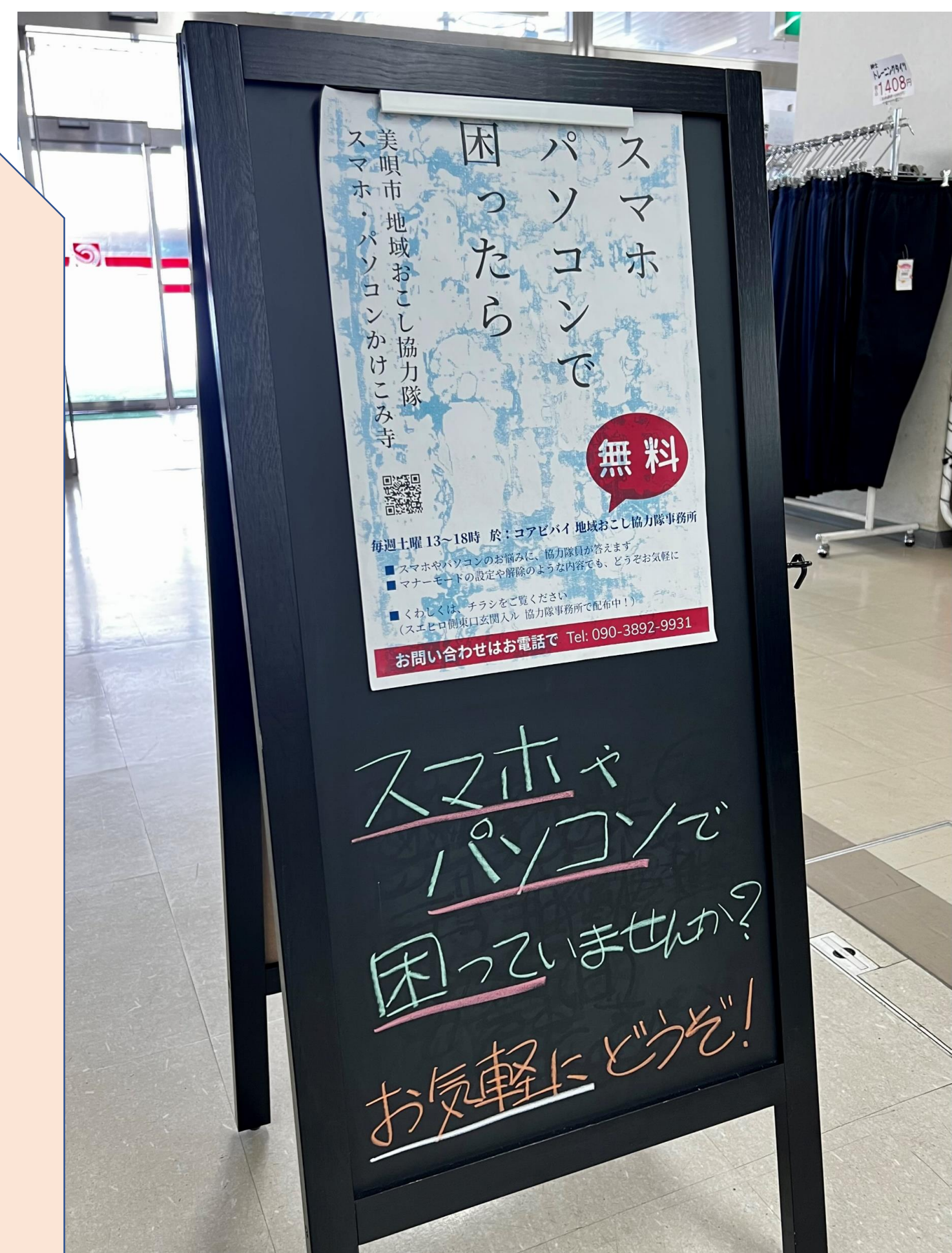
協力隊4年目の浅川覚一郎こと、浅川大輔です。何十年も物書きの仕事をしていましたので（元「週刊ポスト」記者）ペンネームの“カクイチロウ”で普段の生活も過ごしています。

協力隊では「中心市街地をフィールドにしたイベントの企画運営・賑わい創出」というミッションに取り組んでいます。美唄の街の中に、もっともっと美唄の人や、市外の人に来てもらうためにはどうしたらいいだろう？ ということです。

僕たち商工労働系の協力隊員の事務所は、このコアビバイにあります。いつでも気軽にお声かけください！この事務所では、毎週土曜日の午後12時に「スマホ・パソコンかけこみ寺」を開催中です。スマホで、わからないこと、困ったことがあったら、いつでもお手伝いします。ご相談はお電話でもどうぞ。

そして、2022年で一番大きなイベントは、クレイジーケンバンドのギタリスト、小野瀬正生さんを迎えたライブでした（於「Y's 21世紀」）

「袋やきそば」がご縁で繋がった小野瀬さんには、これからも美唄でライブやイベントに登場していただけたらと思っています。



新聞で、お目にかかります。

2020年から取り組んでいるスマホのソーシャルゲーム「ステーションメモリーズ！（駅メモ）」の「でんこ」と呼ばれるキャラクターの一人「美唄イムラ」を活用した街おこしの取り組みは「北海道新聞」や「プレス空知」「東洋経済オンライン」といったメディアに繰り返し取り上げられています。今年度は「東明駅」でのトーク＆ライブイベントを行い、現地には兵庫や京都、神奈川などの道外からも、美唄と「駅メモ」の関連人口が集まりました。

この「駅メモ」での街おこしは、来年度にはまた新しいステージに進めるよう、準備を進めているところです。ご期待ください！

また、美唄のハスカップを教材にした中央小学校4年生の総合学習への取り組みを複数の地域おこし協力隊員でサポート。子供たちは、ハスカップの植物、作物としての成り立ちから学習し、その成果として、美唄の新しい特産品になれるようにと、子供たちのアイデアでスイーツの企画と商品化を実現しました。今月行われたコアビバイでの先行販売の後、現在は、駅前の「HOTEL BIJIKO」の地域おこし協力隊員が運営するカフェ「Bimake」で販売中です。

美唄に誕生した新しいハスカップ®のお菓子「ハスクマちゃん」に、ご注目ください！



間借りカレー「キヨウ」 近日オープン!?

美唄に時々オープンするタイカレーのお店「キョウ」は、本格的なグリーンカレーなどのタイ料理を食べられるお店！でも、間借り営業なので、次はどこでお会いできるか、乞うご期待！

ライターの浅川覚一朗の仕事は「プレス空知（市内各コンビニで販売中）」の不定期連載のコラム「地域おこしのタネ」や、バイク誌「Moto NAVI（コアビバイ「BOOKsコア」で発売中）」と、Webサイト「Moto NAVI Cars」などでご覧いただけます。